

令和7年度 長野自動車道沿線騒音調査等結果表

筑北村

村では、長野自動車道沿線の騒音や交通量等を把握するため、年1回坂北地域向原地区と坂井地域古司地区の2地点において調査を実施しています。

本年度は10月20日（月）午前8時から翌21日（火）午前8時まで調査を実施しました。結果については下記のとおりです。

（1）環境基準との比較

（単位：dB）

調査地点	環境基準		調査騒音レベル			
			令和7年度		令和6年度	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
坂北（向原地区）	65	60	59	55	61	58
坂井（古司地区）	65	60	59	55	59	55

★結果まとめ

- 騒音レベルは、走行車両台数、走行スピード、走行車両種別によって異なりますが、昨年度、本年度ともに騒音レベルは2地点とも環境基準を下回っていました。

（2）区間内の平均交通量及び平均速度

（単位：台・km/h）

区間	平均交通量 （1時間あたり）		平均走行速度 （1台あたり）	
	昼間	夜間	昼間	夜間
筑北スマートIC～麻績IC区間	1,541	440	85	82
麻績IC～姨捨SA（スマートIC）区間	1,568	399	87	86

★結果まとめ

- 交通量については、7時から20時までの間で走行車両数が多く、その時間帯では2地点とも1時間当たり上下線合わせて、およそ1300台から2000台の車両が走行している状況でした。
- 22時から5時の夜間は2地点とも1時間当たり上下線合わせて300台から700台と減少はしますが、大型車両の走行数が普通車より多く、およそ走行車両の60%から80%が大型車両でした。また、走行速度については、著しく早い車と遅い車を除いた10台を上下線ともに調査し、平均速度を計測しています。